

(別記様式第5号)

備北地域医療構想調整会議 報告書

(備北) 地域医療構想調整会議

会議の実施日時	令和4年9月1日(木) 15:30~17:00 令和4年度 第1回
次第2 議 事	
(1) 備北地域医療構想調整会議及び同会議病院・有床診療所部会合同会議	
ア 地域医療構想の進め方について(医療機関の対応方針の策定について)	
○ 事務局から資料1-1及び1-2によって議事(1)アについて説明した。	
《質疑・意見等》 特になし。	
イ 令和3年度病床機能報告(確定値)等について	
○ 事務局から資料2-1, 2-2及び2-3によって議事(1)イについて説明した。	
《質疑・意見等》 特になし。	
ウ 令和3年度基金等の執行状況について エ 外来機能の明確化・連携について オ 医療機器の共同利用計画書の提出状況について	※一括説明
○ 事務局から資料3, 4及び5によって議事(1)ウ, エ及びオについて説明した。	
《質疑・意見等》 特になし。	
カ 市立三次中央病院新病院基本構想等について	
○ 市立三次中央病院の片岡事務部長から資料6-1及び6-2によって議事(1)カについて説明した。	
《質疑・意見等》	
○ 基本構想検討委員会では、現在地で建替、305床で検討が進んでいる。最終的には、9月16日の検討委員会において、パブリックコメントを含めて意見集約される予定になっている。(鳴戸会長)	
■ 資料6-1の20ページの病床算出根拠について、将来の入院患者数見込みに稼働率の余裕を持たせ、さらに新たに必要な機能分を上乗せしているが、これは本当に運用できる	

病床数なのか。医師や看護師などの人材不足を考慮すると心配だ。(安藤委員)

- 人材の問題は検討委員会でも議論されている。今のうちから確保に努める必要があるという意見あった。この地域の医療を守っていくためには、必要な人数は何としてでも確保しないとイケないだろう。人員確保と機能縮小は別の問題として考えるべきと思う。(鳴戸会長)

■ 新たな機能の必要性は理解できるが、人員が足りなければ運用できない。その辺の対策も講じなければ絵に描いた餅に終わってしまう。(安藤委員)

- 運用に不安があるからと最初から機能を縮小すると、尻すぼみになって地域が地盤沈下しかねない。医師についてはメディカルネットワークを中心に大学と連携し、何とか確保できるところに至っている。看護・介護人材はこれからだが、備北圏域の市民として、自らがこの地域をどう守っていくかを示す、チャレンジでもあると思っている。退いてしまえば地域の医療が尻すぼみになり、三次も消滅危惧都市になりかねないのではないか。三次中央病院は備北圏域の宝である。これだけの機能がこの地域にあることを活かしていきたい。そういう風に考えた計画になっていると思っている。(鳴戸会長)

■ 350床ある中でコロナの影響で多少空いているが、300床を運用できる人数は、今の三次中央病院に備わっていると思う。7対1で運用できないと言っても、例えば緩和病床は13対1、地域包括の方も配置する人数に応じるので、人員が少ないから運用できないということではないと思う。私が言うことではないが、夜勤ができる看護師が足りないことが問題であって、その手当などを市役所の方で考えていただき、人材が確保できれば無理な病床数ではないし、十分運用できると検討委員会の皆さんは考えておられるのではないかと。(中西副会長)

■ 人数の確保については、これからの看護部の体制づくりが重要になる。ブラック企業にならないよう、看護師の処遇改善を検討しながら今から人を増やしていかないと、当院に期待されている医療が提供できず、皆さん方も影響を受けることになる。皆さんが当院に期待することや、県の期待することもあるので、そこを描いて夢も持って基本構想を作った。皆さんで盛り上げて欲しい。(永澤委員)

■ 病院サイドの人は言い難いだろうが、採用試験を受けて欲しいと言っても、何人採用するかになると、市当局は厳しいことも言われる。今こそ余裕を持って人材確保したいというのが本音なので、是非応援をいただきたい。(中西副会長)

- 安藤先生の危惧はよく分かる。しかし、この地域が埋没しないために皆で頑張りたいと思う。地域の魅力を皆で共有し、何とか頑張っていきたい。(鳴戸会長)

■ 病院とか医療はどんどん変化していくので、できれば今回のコロナの対応のように、問題が起きたらすぐ皆で話し合い変えてゆけるという、PDCAサイクルが回れば良いと思うので、新しい病院ができて終わりではなく、問題点・課題を絶えず変えていけるようにして欲しい。我々開業医のためにも、こういう病院があると良いと思うが、三次中央病院を盛り上げるために、開業医に期待することを発信できる病院であれば良いと思うので、もう少し密な形で対話し、行動を起こせるような決め事ができる場があると有難い。(岡崎委員)

- 外来機能について、三次中央病院は外来紹介医療機関などには既になっている。備北圏域は医療の連携がとても良い地域で、絵に描いてあったものが全部できていると思う。コロナの調整会議においても、皆さんが参加することで、少ない人材の中でも効率的な

対応ができていると思う。地域医療構想についても、備北医療圏はかなりモデル的な圏域と自負しているので、今後は医療だけではなく、介護の方の連携にも取組が進んでいくと思う。その辺りも皆様と情報交換し、共有しながら良い形を作っていきたい。(鳴戸会長)

※出席者委員の分かるものを添付してください。

※報告書は複数枚になっても構いませんが、各協議内容について項目の整理をお願いします。

※参考となる資料があれば、併せて提出してください。